

夏季節電も終盤に ピーアーク銀座店の場合

営業、来客数とも健闘
節電だけで30%以上の「減」

照明を落とした銀座店。やや暗いが室温はちょうどいい

パチンコ産業界の夏季節電への取り組みも9月末日で終了した。特に、東京電力と東北電力管内のホールは輪番休業、空調を中心とした節電を続け、社会への役割を果たした。その中で節電ホールシリーズの3回目としてピーアークホールディングス(株)のピーアーク銀座店を訪れた。ピーアークは業界の中でも、パチンコの地位向上、お客様へのサービスなどで、リーダー的な役割を果たしているだけに、節電に関しても手抜かりのない対応をしてきた。節電期間の終盤に取材したので、節電による経費節減、経営への影響などもリポートする。

9月12日、秋も近いはずなのに、午後の日差しがカットと照りつけ、ぶり返した暑さに閉口する。東京・東銀座の交差点にあるピーアーク銀座店の前は32度を超えていた。ホールに逃げ込むと、ほっとする涼しさが漂う。まずまずの賑わいで、お客様ものんびりと、銀座の午後を楽しんでいる様子だ。

総合対策は空調から「サマータイム」まで

ピーアークホールディングス(株)は東電管内の37店舗で営業しており、そのうち足立区のスタジオ1〜4店、千葉のおゆみ野、長沼など5事業所が500kW以上の大口需要家だ。お客様の居心地を確保しながら、節電効果を高めるためにピーアークは、以下のような

総合的な対策を講じてきた。

▽輪番休業(月3日の店休日)

▽空調・関連設備

空調室外機散水機の設置

空調設備のオーバーホール、定期清掃

省電力型空調設備への変更

ホール空調の実温管理の徹底

▽照明・その他設備

外壁照明の終日消灯

ネオン・看板・電光掲示板等の消灯

ホール・バックヤード照明の減灯、間引き

自動販売機照明の消灯

エレベーター・エスカレーターの停止など

▽オフィスエリアでの

主な取り組み

日中時間帯のワークスペース、通路照明の消灯

エントランス照明、打ち合わせスペースの照明間引き、消灯

空調温度を常時28度設定で管理

サマータイム導入(5月1日〜9月30日)

タールビス実施(5月1日〜9月30日)

PCモニタ電源設定

効果をあげた節電対策について話すピーアークホールディングス・加藤雅也執行役員



デマンドデータを見ながら話し合うピーアーク東京・川島仁取締役管理部長(左)と増田圭一マネージャー

節電ではすでに実績 警報システムも有効

「3・11の時点で、デマンド監視装置が8割方のホールに既に入っていました。直後に全店に導入し、節電強化に対応しました。特に夏期は空調が電力消費の5割を占めます。それだけに室外機の自動散水システムなど効率的な管理に気を遣ってきました」と全社的に目を配ってきた加藤雅也執行役員は、付け焼刃ではない対策に自信を持っていた。

ピーアーク銀座店は契約電力が179kW。大口需要家ではないが15%削減を目標にしてきたので、実際は7月17日の138kW、8

月が10日と12日の135kWがピークとなったから、前年より32%以上の節電効果をあげたことになる。川島仁管理部長は「節電は2007年から取り組んできましたので、スムーズに運用できました。日々、デマンド値を常時チェックしましたが、警報システムも有効でした」と補足する。ピーアークでは、設定値を超えると店長とマネージャの携帯電話に警報が鳴り、即座に対処することになっている。設定値は各店それぞれが、店の状況から対応しやすい値を決めている。

可能な限りトライし 思わぬ失敗もあった

全37店舗のデータでは、最大使用電力の1日平均は

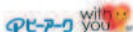
10年7月5941kW↓11年7月4118kW【削減率実績31・7%】
10年8月6577kW↓11年8月4247kW【削減率実績35・4%】
と非常に大きな節電実績をあげている。これに輪番休業の節電がプラスされることになる。

このような結果を出せたのは総合対策にある。空調関連では散水機の効果的運用のうえに今年に入って東電管内3店舗で省電力空調設備に入れ替えた。照明もきめ細かく運用したが、そのおかげでバックヤードは暗くて暑いのを相当我慢しなければならなかった。また、17時台のピークを避けるために総務関係から役員までサマータイムを採用するなど、可能な限りトライしてきた。積極的にチャレンジしての失敗例もある。あるホールで、お客様がプレーしていない遊技台の電源を切る試みをした

お客様の、ご協力の証です。



お客様のご協力により節電に取り組んでおります。ご不便をおかけいたしますが、ご理解ください。またようお願い申し上げます。



ホールの節電が家庭ではどのくらいの節電に相当するかをPRしてお客様の協力をお願いした

店外の照明を落としたピーアークユウカリが丘店。同じように37店舗で実施した



が、再立ち上げ時に大きな音が出るうえ、お客様から「不便だ。気持ちが悪くなる」と苦情が殺到した。大当たり時で150Wの節電になるのだが、すぐに中止した。

地震直後に自粛休業 板ばさみの5日間に

しかし、全体的にお客様の反応は予想以上に柔軟だった。「輪番休業など覚えてくれていましたし、照明も当初苦情を言う人がたまにいましたが、事情をお話するとすぐに理解してくれました」とホ

ールを管理する増田圭一マネジャーはほっとしている。このお客様の反応がホールにとっては何よりのご褒美だろう。

ピーアークはリーダーカンパニ
ーらしく、地震直後の3月14日か
ら18日までの5日間、緊急対策委
員会の決定で自粛休業を経験して
いる。この時の方が辛かったと加
藤執行役員は言う。「店を開けて
くれ」「なんで休んでるんだ」の
声と「ピーアークはさすがだ」「営
業してる方がおかしい」の声には
さまれ続けたのだ。

経費節減にも効果大 今後も積極的に推進

節電活動も終盤をむかえ、節電
の努力で経費面ではどれだけの効
果をあげたか、データがそろって
きた。全37店舗のデータを総計す



銀座店では、店の前を通行する人にも
ミストで心ばかりのサービス

ると、7月分で966万1000
円の経費削減となった。8月では
1467万4000円の減。加藤
執行役員によると「継続した場合、
年に1億円近い削減になるでしょ
う」とのことだ。

経費節減にはなったが、この節
電期間、お客様の来店状況など経
営面ではどのくらい影響があった
だろうか。7月の売り上げを調べ
ると昨年同月比で90・7%となっ
ている。8月の売り上げも90・7
%。輪番休業の3日が1か月の約
10%に当たるから、営業日に関し
てはそんなに影響は出なかったと
言える。来客数で見ると7月が前
年の93・8%、

ピーアーク銀座店 ■ ピーアークホールディングス(株)

住所 東京都中央区銀座5-12-1
敷地 店舗面積 500㎡
遊技機台数 パチンコ203台、パチスロ74台
駐車場 なし

8月が93・9%で、
1日単位では増
えている。休業
したわりには営
業的には「悪く
ない」という見
方もできるとい
う。ピーアークは
節電期間が終わ
っても、当然「省
エネ」は推進し
ていく。デマン
ド監視装置の日

常的なチェックを継続し、10年を
超える古いタイプの空調設備をな
るべく早いピッチで熱効率のいい

デマンドデータの節電速報値

8月も20%減を維持

東電管内の
58社を調査

新品に入れ替えていく。当初費用
がかかるが、経営的には消化でき
る見通しを立てている。

ホール5団体環境実務者会議が
9月13日、東京・市ヶ谷の遊技会
館で開かれ、日遊協から夏季節電
の8月速報値(表)が発表された。

速報値はデマンド監視装置のメー
カー3社がホール88社の電力の最
大デマンド値平均を昨年と比較し
ている。既に発表された7月分
は東京電力管内が20・44%。東北
電力管内が16・15%の削減になっ
ていたが、8月分も東京電力管内
が20・18%、東北電力管内が21・
61%の削減数値となり、節電の実
をあげている。

ホール5団体は今夏の節電に関
し、東京電力管内では25%以上節
電10%以上、輪番休業15%の削減
東北電力管内では20%以上(節電10
%以上、輪番休業10%)の削減をノ
ルマとしている。8月の速報によ
ると東電管内58社で日置電機(株)の
調査が25社18・82%減、日本テク

夏季節電8月実績・デマンドデータ速報

▼東京電力管内

デマンドメーカー	H社	T社	O社	合計
対象店舗数	25	12	21	58
2010年7~9月最大デマンド値(平均kw)	373.1	232	335.5	330.3
2011年8月最大デマンド値(平均kw)	302.9	188.9	259.6	263.6
削減率	18.82%	18.58%	22.62%	20.18%

▼東北電力管内

デマンドメーカー	H社	T社	O社	合計
対象店舗数	1	12	17	30
2010年7~9月最大デマンド値(平均kw)	367.3	279.5	364.8	330.8
2011年8月最大デマンド値(平均kw)	323	232.3	274.6	259.3
削減率	12.06%	16.89%	24.73%	21.61%

H社=日置電機株、T社=日本テクノ株、O社=オムロンアミューズメント株

ノ(株)が12社18・58%減、オムロン
アミューズメント(株)が21社22・62
%となっており、それぞれ目標を
大きくクリアしている。東北電力
管内は、日置電機(株)の調査が1社
だが、全体で30社のデータとなっ
ている。

全日遊連が電力削減7月分を発表

東電管内は15・8%減 休業併せ30・8%減で目標クリア

全日遊連(全日本遊技事業協同組合連合会)は9月5日、東京電力および東北電力管内ホールの節電実施に関し、電力会社の請求書を基にした最大需要電力(kW)の調査結果7月分を発表した。

東電管内では、対象3656ホールのうち1888ホール(回答率

%)を大きく超える数字で目標を達成した。また電力使用料(kWh)も対前年比77・9%で22・1%の削減を記録した。

51・6%が回答し、そのうち回答有効ホールは1755ホールだった。その結果、最大需要電力は対前年同月比84・2%となり、15・8%の削減となった。輪番休業(月3回以上・15%減)と合わせる

と30・8%の節電となる。これは目標の25%(節電10%、輪番休業15

に準備を進めている光景を見て、胸が締め付けられる思いでした。残念なのは、沢山のボランティアをしたいと思います。集まっている人を指示手配する人員が足りておらず、現地での指示待ちする人を要所でみられ無駄に感じました。これは民間のボランティアが行っているようでしたが、この部分は国が先頭に立って指揮をとるべきではと感じました。(内匠亮太郎)

北海道支部ボランティア隊第3陣

運び出す品々に心痛む

▽日時 9月14日～9月16日

▽場所 宮城県石巻市旧牡鹿町

▽隊員 隊長・内匠亮太郎(ジー・

イー・エム(株) 佐藤純也(株)ヒクトリア観光) 脇谷孝志、内山幸治、松谷義明、山田翼(株)正栄プロジェクト)

▽作業 民家の側溝土砂、家財の撤去、小学校の瓦礫撤去、運動会準備

今でも続く瓦礫撤去。その中に思いのある生活用品も

我々が最初に指示されたのは民家の側溝の土砂撤去でした。一仕事を終えて昼食を取り、午後からの作業は、辛うじて形だけを残した民家からの家具の撤去作業でした。おじいさんの愛読書やお孫さんの玩具などが次々と運び出され

ました。もう使えない品々が、時間が止まったかのように泥だらけの状態で山積みになりました。作業を終わらせた後、近くにあってた小学校に立ち寄り、何か手伝わせてもらえないかと聞いてみましたところ、その週末に運動会があることでその準備を手伝ってほしいとのことでした。校長先生に話を聞くと幸い生徒は全員無事だったが、家族や親せきを亡くし、家を失い、その影響で町を離れなくてはいけなくなり生徒数は半分になったそうです。にもかかわらずそこにいる子供たちがみんな元気

不参加4ホールに要請書

ホール5団体、輪番休業で

ホール5団体(全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、PCSA)は9月1日までに、輪番休業へ参加しない4社(青森、山形、新潟、千葉県)に対し、9月には輪番休業に参加するよう求める要請文を發した。このうち1社から9月に参加する旨の回答があった。

大手のベガスベガス(本社・山形市)は照明や空調等の削減で目標値を達成できるとして輪番休業に参加せず、地元遊協からの要請にも応じなかったため、他の3社とともにホール5団体連名の要請文が送られた。

(株)西の丸、被災地支援で表彰 瓦礫撤去など3隊71人

東日本大震災に関して、経済産業省はこのほど、「被災地域の復旧・復興に貢献をした中小企業の取組」として、全国の中小企業115社の活動を表彰した。パチンコ業界では、宮崎県内に10ホールを展開する(株)西の丸(西谷淳社長、本社・東臼杵郡門川町)のボランティア活

動が対象となった。表彰は8月2日付で行われ、九州では西の丸を含む6企業が表彰された。

西の丸グループには西谷栄一会長が会長を務めるボランティア組織「西の丸一善の会」があり、ことし2月には新燃岳(しんもえだけ)噴火の火山灰除去のため都市に出動している。今回の大震災にあたって、一善の会は津波の被災地、宮城県

巨理町と山元町に、4月13～23日、5月9～21日、6月4～18日の3回にわたり、毎回21～25人、延べ71人(うち女性は延べ10人)を派遣した。西谷会長以下社員たちはマイクロボス、トラック各1台、ワゴン車2台に分乗、片道約30時間かけて往復した。

「悲惨の中で感動した」

現地では地元のボランティアセンターの指示に従って、民家やイチゴ農園で瓦礫や汚泥の撤去・清掃などを行った。指示された作業はいつも早めに終わり、余った時間には、近隣で疲れた顔のお年寄りたちが細々と後片付けしている家を見つけては手伝った。作業した家の人たちから涙を流してお礼をいわれ、それを見て社員たちも感動した。参加した社員は、「声が出なくなるくらい(惨状に)嘔然とした。来なかったら未だに他人事だったと思う。これからの自分の人生に良い経験になった」

から思った」と活動報告書に感想を寄せていた。西谷会長は、「私も仲間とともにいいの感動と教訓をいただきました」と語っていた。

ホール5団体が感謝表明 東電、東北電力管内のホールへ

ホール5団体(全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、PCSA)は9月27日、東京電力及び東北電力管内のホール関係者に宛てて、「東日本大震災による今夏の電力供給不足に対する対応について」と題する連絡を発し、輪番休業などの各種節電対策が実施期間通り9月30日をもって終了することを告げるとともに、この節電対策実施を含めて震災後からの各種取り組みへの協力に対して感謝の意を表明した。

(上) 6月の第3回派遣チーム。前列中央が西谷会長。全員が蛍光色のベストを着用
(下) 瓦礫に埋まった民家の庭で悪戦苦闘(2枚とも(株)西の丸提供)



「作業させていただいた家の方の、精一杯の『ありがとう』や、言葉の一つひとつに感動させられ、来て良かったと心

さらに、電力需給の逼迫は今年冬、来夏も予想されるので、ホール5団体としては今回の成果を糧として、業界の社会的責任を果たすため、今後政府からの節電への協力要請があれば迅速かつ的確に対応していきたいと考えており、引き続きホール関係者に協力をお願いするとしている。